

事務事業評価シート

(H.30)No.	1041	(H.29)No.	1041
-----------	------	-----------	------

事務事業名	災害時要援護者対策家具固定事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	介護・高齢支援室	西山 正彦	

会計区分	事業コード	146601
一般会計	(中事業名) ※予算書事業名	
款 民生費	災害時要援護者対策家具固定事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 老人福祉費	災害時要援護者対策家具固定事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
家具の固定や転倒防止に必要な金具を支給・取付けを行うことで、災害時に家具等の転倒による事故を防ぎ、高齢者の安全性の向上を図る
事業内容
高齢者並びに障害者世帯の安全性向上を図るため、名張市に住所を有する65歳以上の人または障害者(身体障害者手帳1級~3級、療育手帳A1・A2、精神保健福祉手帳1級の手帳を所持する者)のみで構成されており、かつ家具固定が困難な世帯を対象に、市が指定する日時に、ボランティアでの建設労働組合名張支部組合員の協力で、原材料を家具に取り付け、災害時に家具等の転倒による事故を未然に防止する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	80世帯募集 15世帯実施 報償費(事前研修会) 委託料	15千円 63千円	80世帯募集 報償費(事前研修会) 委託料

	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
	80世帯募集 報償費(事前研修会) 委託料	15千円 450千円	80世帯募集 報償費(事前研修会) 委託料 450千円

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		78千円		465千円	465千円	465千円	465千円
内訳 (千円)	国・県支出金	31		225	225	225	225
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	47	0	240	240	240
人工数	職員	0.07人		0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
	臨時職員等	0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	518千円	0千円	518千円	518千円	518千円	518千円
①+②総事業費	0千円	596千円	0千円	983千円	983千円	983千円	983千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
高齢者福祉サービス(介護保険外市独自サービス)として、高齢者等の安全な在宅生活の継続に寄与している。家具固定用金具購入費のみを支出対象とする消耗品費から、設置施工に係る実費分も支出対象に含める委託料へ費目変更を行った。高齢者の保健福祉サービスの一翼を担っている。建設労働組合名張支部の組合員は、ボランティア(無償)で家具への原材料(固定金具等)取付作業を行っている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
市広報、まちの保健室等啓発に重点を置き、より良い成果を得られるよう努める。災害時の高齢者の安全性の向上を図ることは重要であると考え。現行通り建設労働組合名張支部組合員との協働で実施する。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
名張市高齢者保健福祉計画(第7次改訂)・介護保険事業計画(第6次改訂)